「ARCHIVE 2020.01-2020.12」まえがき

私たち『クリエイティブコーディングサークル「ARTiS」』は、「自由な表現の追究とクリエイティブコーディングの普及」を目的として活動しています。設立からようやく1年が経とうとしている、（現状は）完全オンラインのサークルです。部員数は現在11名で、学部1年から修士1年まで在籍しています。

公立はこだて未来大学の学生は、学部1年の授業でProcessingを扱います。本学の学生にとって馴染みの深いプログラミング言語ですが、その割にはProcessingを使って「表現のためのプログラミング」に継続して取り組んだり、関連する学外コミュニティと関わったりといった活動が少ないように思います。「クリエイティブコーディング」「ジェネラティブアート」といった言葉を聞いたことがない学生のほうが多いのではないでしょうか。学外にProcessing Community Japanといったコミュニティがある一方で、学内には関連するコミュニティが存在しませんでした。そこで私たちは、「表現のためのプログラミング」での作品制作と、それに関連する様々な活動を通じて、興味を持つ人を増やそうとしています。その一環として、本誌を制作しました。

本誌「ARCHIVE 2020.01-2020.12」は、私たち『クリエイティブコーディングサークル「ARTiS」』1年間のアーカイブです。前半は5名の個人作品、後半は今年度の各活動（サークルカット制作、ロゴ制作、公式サイト制作、作品展、ワークショップ）についてのアーカイブです。「クリエイティブコーディング」について知らない方にも読んでいただきたいと思っています。本誌を読むことが、興味を持って調べるきっかけになれば幸いです。なお、本誌の各ページは、Processingで書き出しています（ソースコードはGitHubで公開しています）。狂気ですね。

本誌の発行にあたり、ohayota以外にレイアウト作成／寄稿してくれたTomoka、あきっち、eboshidoriの3名、寄稿してくれたIkanoshiokara、原稿チェックを担当してくれたろうえねに感謝します。

2021年1月15日
クリエイティブコーディングサークル「ARTiS」代表
ohayota（高度ICT領域 修士1年）